

基金へのご協力のお願い

平素は本校の学校教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

この度、神戸大学附属学校部では、教育研究基金を募集することになりました。そこで、附属小学校では、仲間と学び、協働する創造的な学習空間を生み出す「メディアスペースの充実」を考えております。詳しくは、以下のパンフレットをご覧ください。

子どもたちの学びを豊かにするため、皆様のあたたかいご寄付を賜れば幸いです。何卒よろしくお願ひいたします。

神戸大学附属小学校

ありがとうございました！

2022年度 研究基金・寄附受け入れ金額
455,000円
(保護者17名, 卒業生1名, その他1名)

図鑑・伝記・歴史の本を323冊
購入することができました



購入本の一部です。これから順次貸出ができる
ように準備を行いますので, お楽しみに。

引き続き, メディアスペースの充実
にむけて, 研究基金のご寄附を
よろしくお願ひいたします!!

グローバルキャリア人の育成

「自律」

自ら進んで生活を築いていく子ども

「創造」

豊かな感性と探求的な思考力を働かせて、文化を創造していく子ども

「尊重」

国際的な視野と広い心を持ち、お互いを尊重し合う子ども

メディアスペースの充実

メディアスペースとは

本を読んだり、調べ物をしたりなどの図書室機能にとどまらず、対話的・協働的な学習として多様な学習スタイルに対応できる活動空間

仲間と学び・協働する、創造的な活動空間

ただ個人で学習する空間ではなく、

【会う】 子どもたちが出会い、アイデアに出会い

【話す】 アイデアを仲間と話し合い、新しいアイデアに結びつく

【深める】 生まれたアイデアを、個人リサーチや仲間との議論で深める

【共有する】 深まったアイデアを仲間で共有し、自信・成長につなげる

4. 共有する



3. 深める

出会いや交流で生まれたアイデアを個人のリサーチや仲間との議論でより深め、まとめます。



1. 出会う

子どもたちが集まり、つながることで、新しい情報に触れアイデアを生み出します。



2. 話す

アイデアは個人で温めることも重要ですが仲間との話し合い意見交換することも大事です。お互いの考え方や理解の存在に気づき、新しいアイデアに結びつけます。



メディアスペースの充実に向けて

2016年に校舎改修を行いましたが、メディアスペースは、予算不足のため十分な施設が整わず、完成途中のままでの運営が続いています。

そのため、購入できなかったカウンターは、使用しなくなった講堂の演台などで代用し、机やいすも他の教室で使用されなくなった廃棄手前の物を使用しています。

また、調べ学習で使用する図鑑類は、更新が間に合っておらず、20年以上前に発行されたものを置いています。読み物の本についても、書架には本を置くスペースがまだまだあります。子どもたちに、もっと喜びや希望を与えてくれる本を満たしてあげたいと考えています。

子どもたちが主体的に学び続ける場所を作るために、どうか皆様の温かいご支援をお願いできないでしょうか？よろしくお願ひ致します。



机とイスも新規購入できずに、古い机とイスを使用し続けています。



2022年度のご寄附により、最新の図鑑をはじめ、伝記、歴史の本を323冊購入することができました。ありがとうございました。貸出カウンターや机やイスについては、まだ購入にいたっておりません。引き続き温かいご支援をよろしくお願ひいたします。